



株式会社 フルキャスト ホールディングス

2010年9月期 第2四半期 決算報告

2010年5月7日

Agenda

- ◆ はじめに
- ◆ Highlight 2010年9月期業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ セグメント別業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ 2010年9月期 通期業績計画
- ◆ 営業支援事業の再建計画
- ◆ 派遣法の改正と短期業務支援事業の今後

「3か年計画」のロードマップ

	2009年9月期	2010年9月期	2011年9月期
目標	経営基盤の再構築	黒字化	収益の拡大
事業リストクチャリング	完了		
財務リストラクチャリング	フルキャストテクノロジー	の株式譲渡の検討を継続	

達成のための具体策：当期期初段階

＜短期業務支援事業＞

1. マネジメント強化による効率化、生産性の向上
2. 顧客属性に応じた営業戦略の推進
 - －大口顧客：インスタシアアの拡大
 - －小口/新規顧客：稼動社数の拡大

＜営業支援事業＞

1. 通信商材を中心とした
営業アウトソーシング事業に特化
 - ①代理店販売部門の強化
 - ②コールセンター部門の強化
 ⇒合弁会社設立

Agenda

- ◆ はじめに
- ◆ Highlight 2010年9月期業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ セグメント別業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ 2010年9月期 通期業績計画
- ◆ 営業支援事業の再建計画
- ◆ 派遣法の改正と短期業務支援事業の今後

2010年9月期 第2四半期会計期間業績

単位:百万円

	2009年9月期 第2四半期会計期間	2010年9月期 第2四半期会計期間	増減率
売上高	15,308	8,848	▲42.2%
売上総利益	3,369	2,110	▲37.4%
販売費及び一般管理費	3,692	1,974	▲46.5%
営業利益	▲323	136	—
営業利益率	▲2.1%	1.5%	—
経常利益	▲404	108	—
当期純利益	▲1,135	180	—

設備投資額

53

2

◆譲渡子会社の影響を除いた場合、連結売上高の前年同期比較は8.9%減、営業利益の前年同期比較は314百万円の増益。(前年同期は179百万円の損失)

※2009年9月期第1四半期にアジアパシフィックシステム総研(株)及び同社連結子会社3社、第2四半期に(株)インフォピー、第3四半期に(株)フルキャストファイナンス、(株)フルキャストファクトリー、(株)フルキャストセントラル、第4四半期にネットイットワークス(株)の全株式を譲渡。

2010年9月期 第2四半期累計期間業績

単位:百万円

	2009年9月期 第2四半期累計期間	2010年9月期 第2四半期累計期間	増減率
売上高	34,764	18,035	▲48.1%
売上総利益	7,930	4,260	▲46.3%
販売費及び一般管理費	8,526	3,846	▲54.9%
営業利益	▲596	414	—
営業利益率	▲1.7%	2.3%	—
経常利益	▲686	362	—
当期純利益	▲2,782	▲216	—

設備投資額

150

31

◆譲渡子会社の影響を除いた場合、連結売上高の前年同期比較は17.9%減、営業利益の前年同期比較は1,103百万円の増益。(前年同期は688百万円の損失)

※2009年9月期第1四半期にアジアパシフィックシステム総研(株)及び同社連結子会社3社、第2四半期に(株)インフォピー、第3四半期に(株)フルキャストファイナンス、(株)フルキャストファクトリー、(株)フルキャストセントラル、第4四半期にネットイットワークス(株)の全株式を譲渡。

バランスシート比較とキャッシュフロー状況

単位:百万円

		2009年9月期末	2010年9月期 第2四半期末	増減	増減比	備考
流動資産		10,157	9,465	▲ 692	▲ 6.8%	現金及び預金が617百万円減少 など。
固定資産	有形・無形固定資産	727	665	▲ 62	▲ 8.6%	
	投資その他の資産	2,187	1,117	▲ 1,070	▲ 48.9%	差入保証金,投資有価証券の評価損、保険積立金の減少 など。
(資産合計)		13,072	11,247	▲ 1,825	▲ 14.0%	
流動負債		8,432	7,662	▲ 771	▲ 9.1%	未払金が565百万円減少 など。
固定負債		2,915	1,964	▲ 951	▲ 32.6%	長期借入金が993百万円減少 など。
純資産		1,724	1,621	▲ 103	▲ 6.0%	
(負債・純資産合計)		13,072	11,247	▲ 1,825	▲ 14.0%	

キャッシュフロー状況

2010年9月期 1Q

2010年9月期 2Q

営業活動によるキャッシュフロー

▲ 79

468

投資活動によるキャッシュフロー

▲ 129

72

財務活動によるキャッシュフロー

▲ 480

▲ 569

フリーキャッシュフロー

▲ 207

540

Agenda

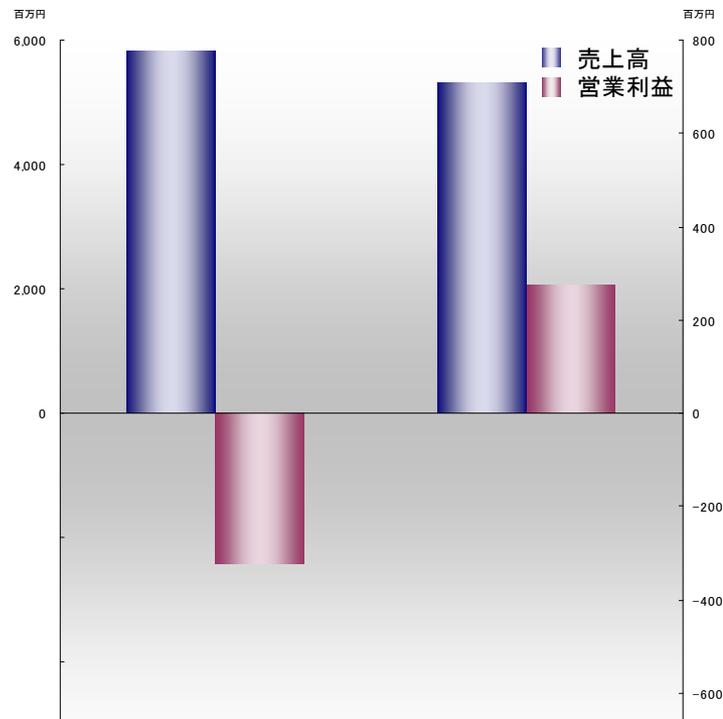
- ◆ はじめに
- ◆ Highlight 2010年9月期業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ セグメント別業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ 2010年9月期 通期業績計画
- ◆ 営業支援事業の再建計画
- ◆ 派遣法の改正と短期業務支援事業の今後

短期業務支援事業：収益比較

【譲渡子会社の影響を除いた場合の収益比較】

単位:百万円

	2009年9月期 第2四半期	2010年9月期 第2四半期	増減率
売上高	5,913	5,316	▲10.1%
営業利益	▲329	276	-
営業利益率	▲5.6%	5.2%	-



【譲渡子会社の影響を除いた場合】 単位:百万円

	2009年9月期 第2四半期	2010年9月期 第2四半期	増減率
売上高	5,808	5,316	▲8.5%
営業利益	▲327	276	-
営業利益率	▲5.6%	5.2%	-

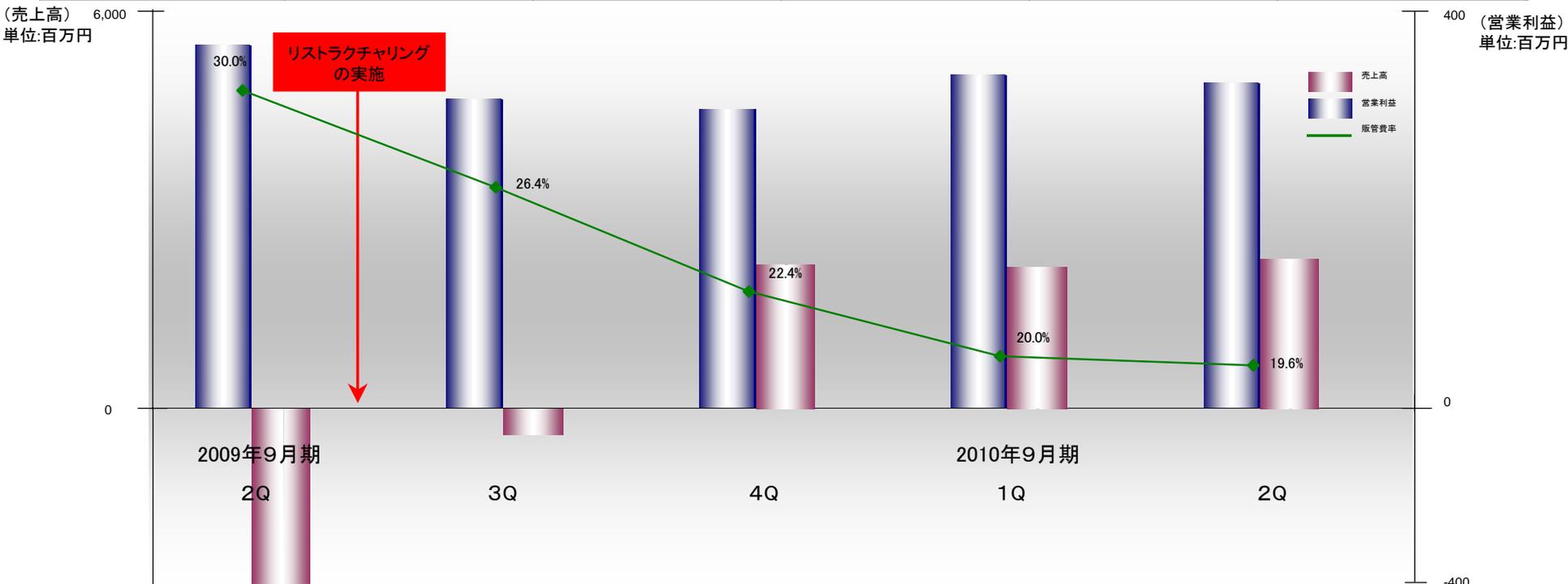
- ◆ 厳しい経済環境の中、リストラクチャリングによる拠点統廃合、人員削減に加え、請求単価の低下により売上高は前年比で減収
- ◆ 前連結会計年度に行ったリストラクチャリング効果により、営業黒字を達成

※当第1四半期連結累計期間より事業の種類別セグメントの区分の変更を行い、「オフィス事業」に含めていたオフィス系人材派遣事業の事務系人材サービスを「短期業務支援事業」に計上しております。なお、前年同期に関する数値は、新しい事業区分によった場合の事業の種類別セグメント情報です。

短期業務支援事業：1年間の四半期毎業績推移

単位:百万円

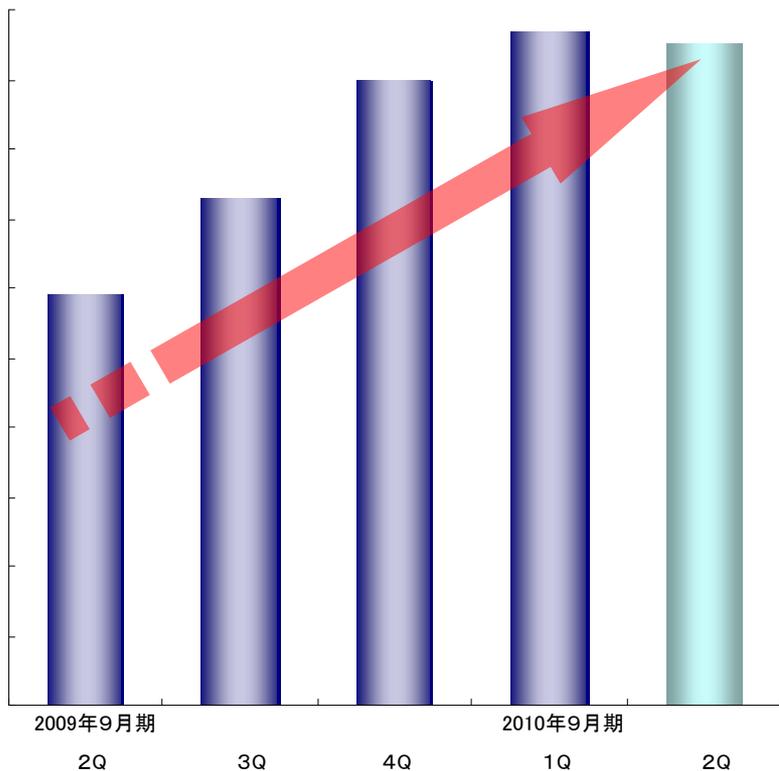
	2009年9月期 第2四半期	第3四半期	第4四半期	2010年9月期 第1四半期	第2四半期
売上高	5,913	5,052	4,894	5,421	5,316
営業利益	▲ 329	▲ 49	267	264	276



短期業務支援事業：生産性推移

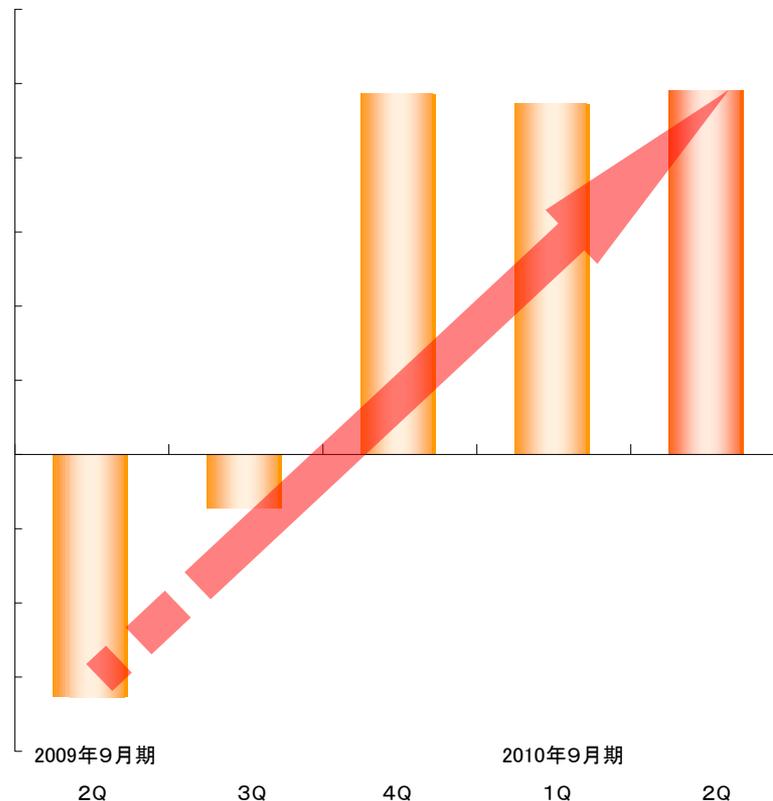
人件費1円当り売上高

単位：円



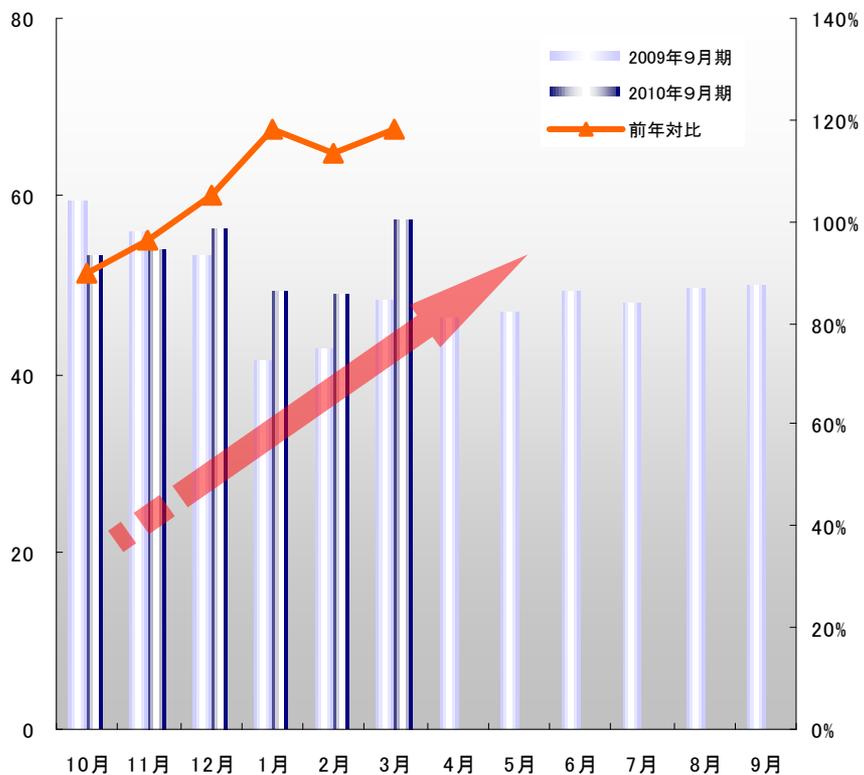
人件費1円当り営業利益

単位：円

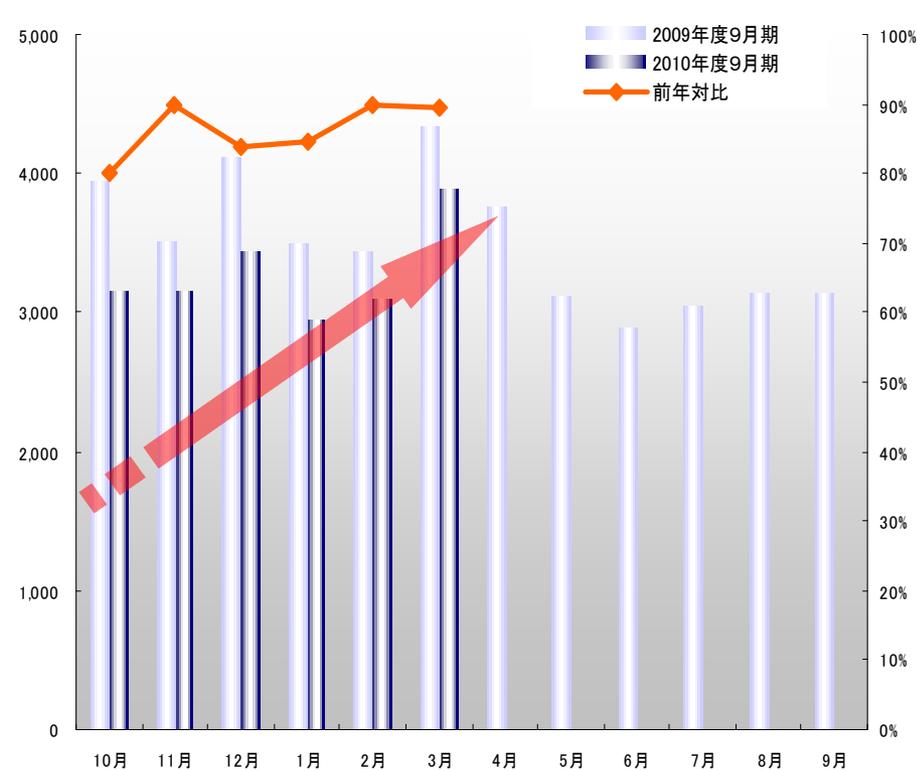


短期業務支援:シェアの拡大

一顧客あたり稼動人数



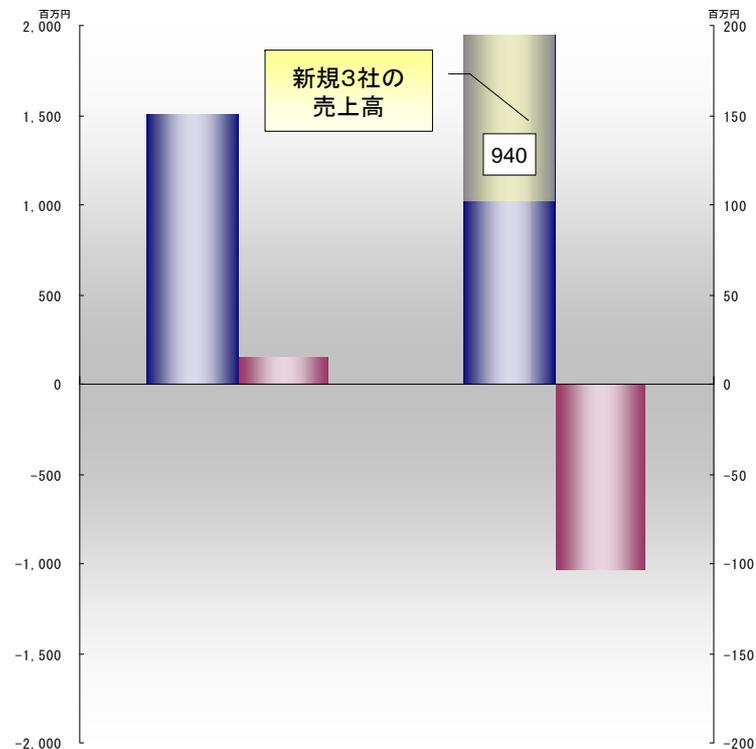
稼動顧客数



営業支援事業：収益比較

単位:百万円

	2009年9月期 第2四半期	2010年9月期 第2四半期	増減率
売上高	1,511	1,949	29.0%
営業利益	15	▲103	—
営業利益率	1.0%	▲5.3%	—



- ◆主力商材の販売不振による減収を主因として減益
- ◆新たに3社が追加になったことにより増収

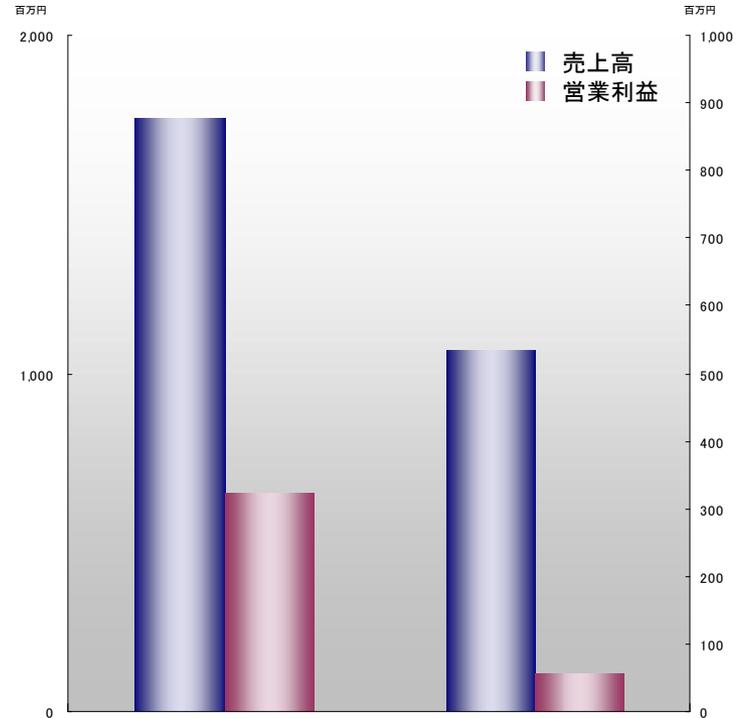
※当第1四半期連結累計期間より事業の種類別セグメントの区分の変更を行い、「オフィス事業」に含めていたオフィス系人材派遣事業の事務系人材サービスを「短期業務支援事業」に計上しております。なお、前年同期に関する数値は、新しい事業区分によった場合の事業の種類別セグメント情報です。

技術者派遣事業：収益比較

【譲渡子会社の影響を除いた場合の収益比較】

単位:百万円

	2009年9月期 第2四半期	2010年9月期 第2四半期	増減率
売上高	4,001	1,066	▲73.4%
営業利益	384	54	▲85.8%
営業利益率	9.6%	5.1%	—



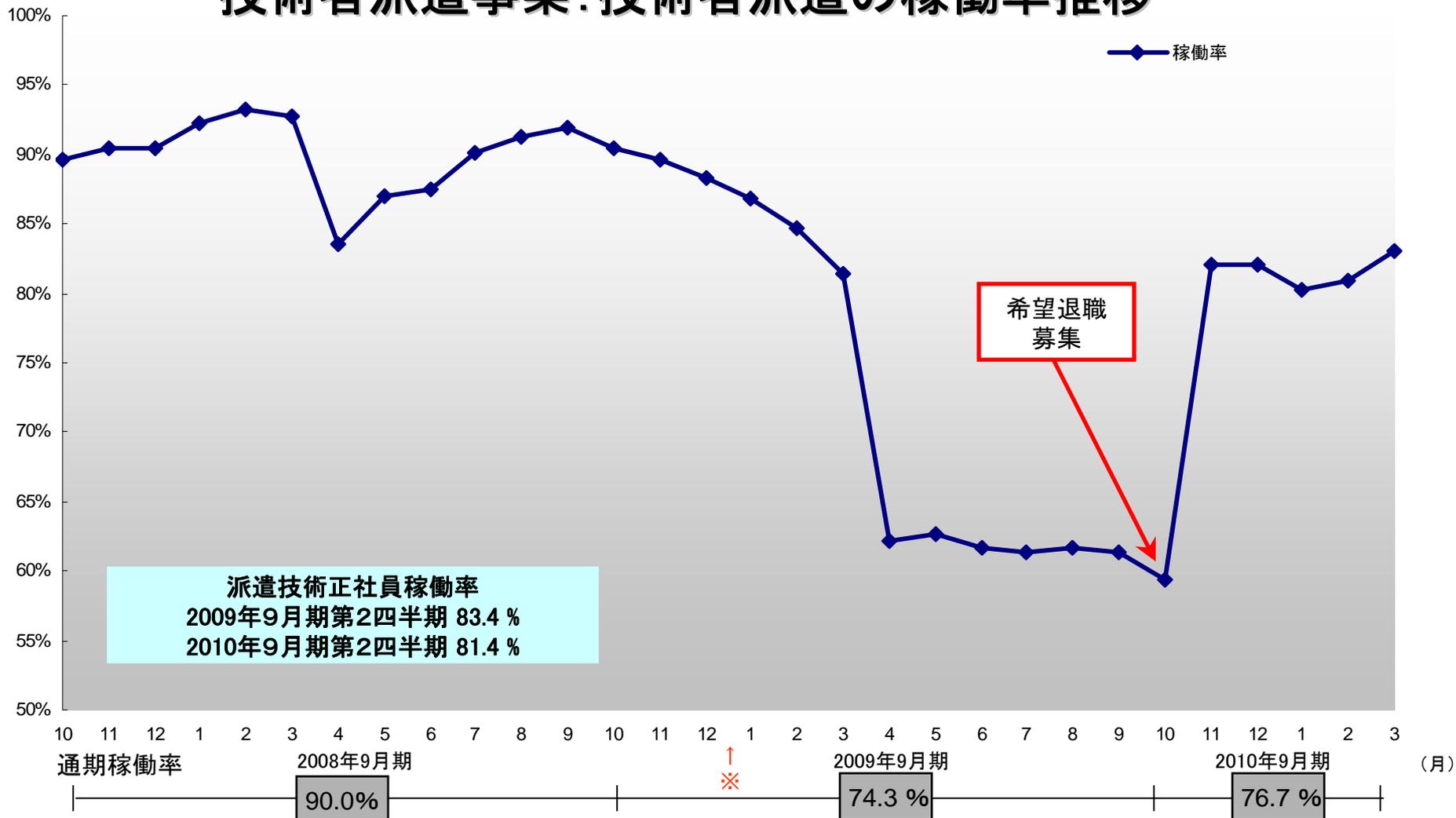
【譲渡子会社の影響を除いた場合】

単位:百万円

	2009年9月期 第2四半期	2010年9月期 第2四半期	増減率
売上高	1,755	1,066	▲39.3%
営業利益	323	54	▲83.1%
営業利益率	18.4%	5.1%	—

◆リストラクチャリングにより、前年同期比減収ながらも営業利益を確保

技術者派遣事業：技術者派遣の稼働率推移



※2009年第1四半期までは(株)フルキャストセントラルおよび(株)フルキャストテクノロジーの合計値より算出。

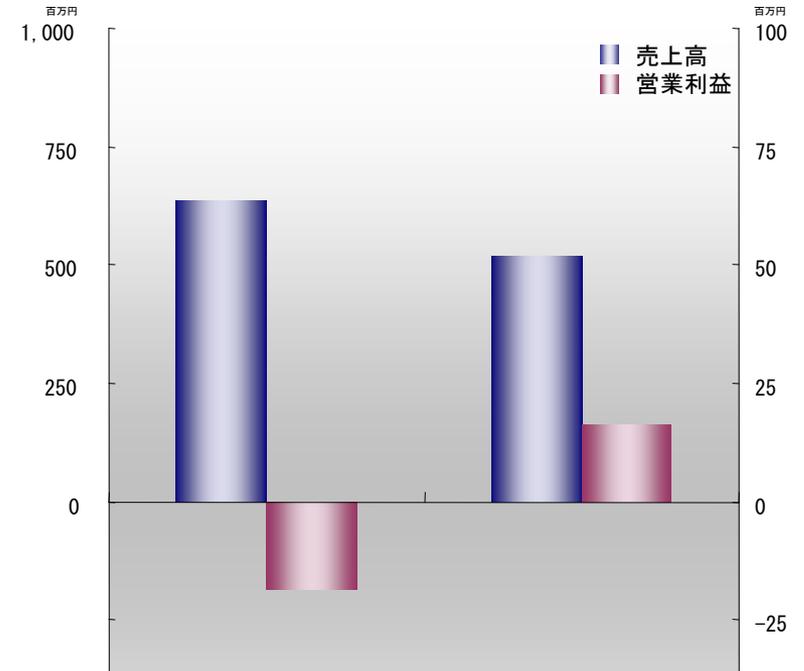
(株)フルキャストセントラルの譲渡により、2009年第2四半期以降は(株)フルキャストテクノロジーのみのデータより算出。

警備・その他事業：収益比較

【譲渡子会社の影響を除いた場合の収益比較】

単位:百万円

	2009年9月期 第2四半期	2010年9月期 第2四半期	増減率
売上高	1,670	517	▲69.0%
営業利益	7	16	119.2%
営業利益率	0.4%	3.1%	—



【譲渡子会社の影響を除いた場合】

単位:百万円

	2009年9月期 第2四半期	2010年9月期 第2四半期	増減率
売上高	634	517	▲18.4%
営業利益	▲19	16	—
営業利益率	▲2.9%	3.1%	—

◆業務効率化による販売費・一般管理費抑制施策により、営業利益を確保

Agenda

- ◆ はじめに
- ◆ Highlight 2010年9月期業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ セグメント別業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ 2010年9月期 通期業績計画
- ◆ 営業支援事業の再建計画
- ◆ 派遣法の改正と短期業務支援事業の今後

2010年9月期 下期・通期修正計画

単位：百万円

	2010年9月期 通期期初計画	2010年9月期 通期修正計画	差異	2010年9月期 下期期初計画	2010年9月期 下期修正計画	差異
売上高	33,780	36,971	3,191	16,138	18,936	2,798
短期業務支援事業	16,254	23,091	6,837	6,742	12,353	5,611
営業支援事業	10,841	7,332	▲3,509	6,071	3,259	▲2,812
技術者派遣事業	4,350	4,266	▲84	2,128	2,109	▲19
警備・その他事業	2,335	2,283	▲52	1,196	1,215	19
営業利益	1,777	1,223	▲554	1,226	808	▲418
経常利益	1,664	1,139	▲525	1,195	777	▲418
当期純利益	782	194	▲588	1,037	410	▲627
1株当たり当期純利益	2,031.89	504.07	—	2,694.46	1,065.31	—

◆ 期初計画に対して、増収減益の計画になるものの、黒字化は達成する見込み。

Agenda

- ◆ はじめに
- ◆ Highlight 2010年9月期業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ セグメント別業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ 2010年9月期 通期業績計画
- ◆ **営業支援事業の再建計画**
- ◆ 派遣法の改正と短期業務支援事業の今後

営業支援事業の再建計画骨子

1. 事業の選択と集中

2. 固定費削減を中心とした収益改善計画

3. 中古携帯販売事業への本格参入

1. 事業の選択と集中

代理店販売



継続。取扱い商材、及び業務フローの見直し

コールセンター



拠点統廃合(8拠点→3拠点)

※ (株)エーコーシステム、(株)イーストコミュニケーション除く

ECOMO



本格参入

フリーペーパー



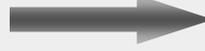
撤退(2010年6月末)

直販



撤退(2010年6月末)

携帯ショップ



実質撤退(4拠点→1拠点)

2. 固定費削減を中心とした収益改善計画

【取扱い商材の見直しによる粗利改善】	低粗利商材からの撤退	<u>28百万円/月</u>
【人員削減】…人件費	137名→96名	
【拠点統廃合】…地代家賃	コールセンター 8拠点→3拠点 旧大阪本社の縮小 (FCM) 名古屋支店撤退 (FCM) 旭川支店撤退 (MS)	
【その他諸費用削減】	販促費他	
小 計		<u>22百万円/月</u>
収益改善額		<u>51百万円/月</u>

※金額は第4四半期予算平均/月-第2四半期(実績平均)/月により算出

3. 中古携帯販売事業の立ち上げ

中古携帯市場はマスコミでも注目

中古携帯市場 広がる

新品の半額以下強みに

キタムラ、販売参入 買値は安い

「新品の半額以下強みに」

ローン未払い品や盗難物 販売トラブル防止 課題



(右) 2010年3月10日 日経流通新聞より
(上) 2010年4月17日 日経新聞朝刊より

中古携帯店、FC展開

フルキャスト系 直営店は東阪名に

フルキャストホールディングス 電話事業を拡大する。北エー（FC）店を展開

3月10日東京・下北沢に中古携帯電話販売店「ECOMO（エコモ）」をオープンするほか、大阪にも直営店を

同社は年内FC店を30店舗まで増やしたい考えだ。

FC店で販売や買い取りが円滑に行われるよう、商品と買取取り価格などを示したり、携帯電話の台数を増やすため、データを消去したりする業務用システムを開発も進める。

同社は昨年5月から札幌市を中心に直営店1店舗を運営。中古携帯市場の拡大は同社が狙い、拡大を見込み店舗網を拡充したうえで店舗に

3. 中古携帯販売事業の立ち上げ

携帯電話の「新しい買い方」を提案するお店

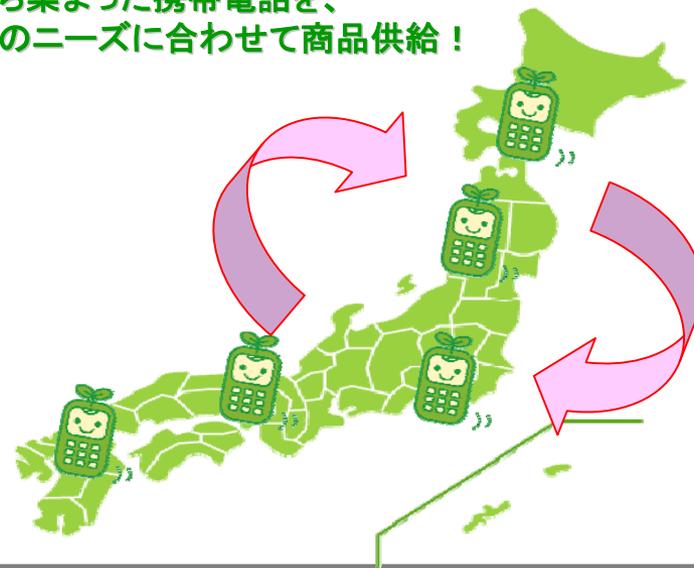


「安く購入できるならリサイクル品でもいい」・・・そんなお客様の声から「ECOMO」が誕生しました。

本部があるから出来るECOMOの強み！

- 豊富な在庫
 - 万一の故障に備えた保証システム
 - 徹底したクリーニング・データ消去をご提供！
 - 盗難・不正契約品などトラブルの回避！
 - 過剰在庫の一括買上システム
- ・・・ などなど

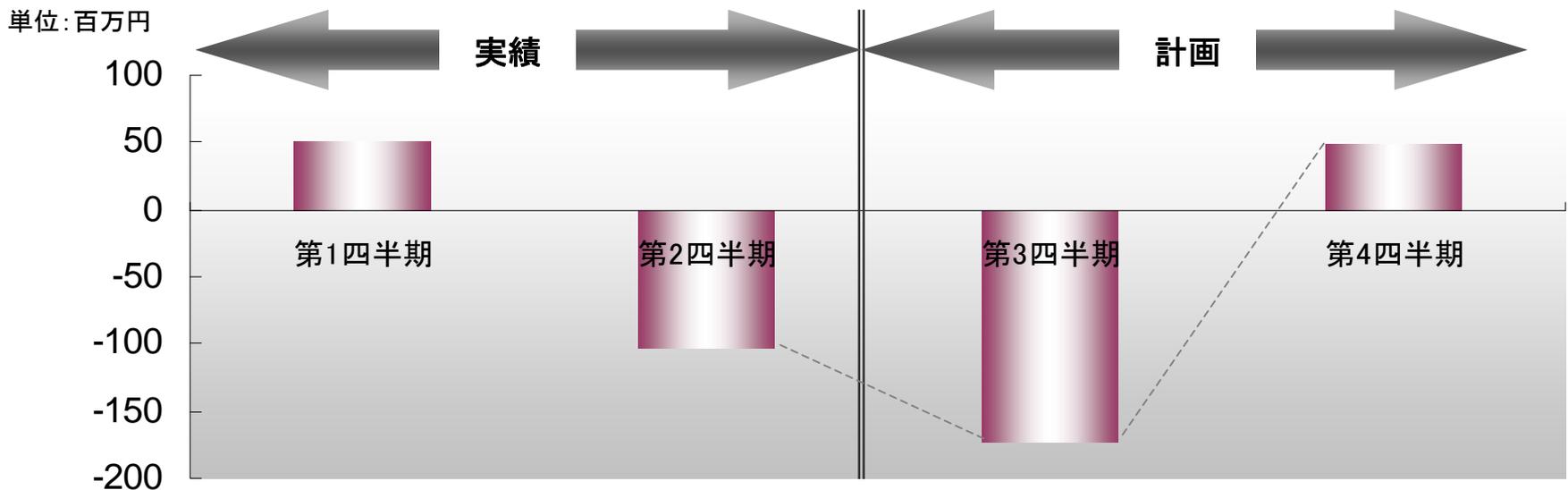
全国から集まった携帯電話を、
各店舗のニーズに合わせて商品供給！



良質の中古携帯を全国に流通！

営業支援事業：営業利益計画

営業利益



◆ 期末以降通期黒字化を目指す

Agenda

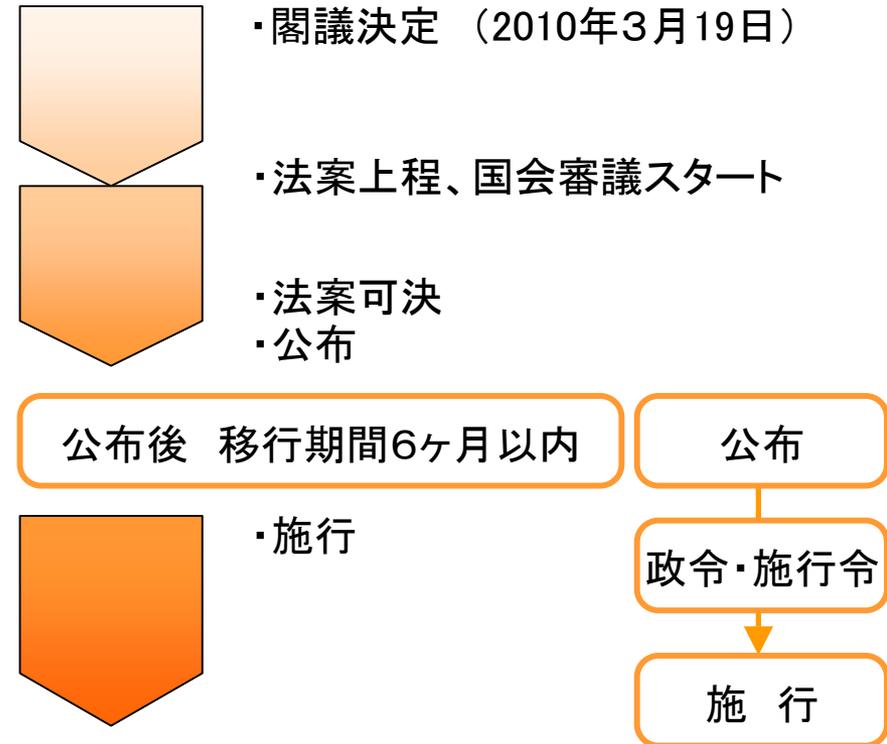
- ◆ はじめに
- ◆ Highlight 2010年9月期業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ セグメント別業績(2010年1月～2010年3月)
- ◆ 2010年9月期 通期業績計画
- ◆ 営業支援事業の再建計画
- ◆ 派遣法の改正と短期業務支援事業の今後

派遣法改正に向けて

改正内容

- 登録型派遣、日雇派遣など2ヶ月以下の雇用契約の派遣を原則禁止（一部例外あり）
- 製造業務派遣の原則禁止（長期間の契約が見込まれる常用型派遣は例外）
- “日雇派遣”は公布後、6ヶ月以内に施行予定
- 登録型派遣と製造業務への派遣禁止の施行は公布から3年以内とし、登録型の一部はさらに2年の猶予を設け、最大5年の施行猶予が可能

今後の見通し



今後の当社サービス

サービス展開

募集～採用の代行、職業紹介などの採用支援サービス

勤怠管理や給与計算などの雇用管理サービス

日払いの代替サービス

メニューの拡充

登録スタッフ管理サービス

シフト管理サービス

請負サービス

さまざまな人材ニーズに対応するために
メニューの拡充を図ります。

- 人材紹介～雇用管理サービスまでの必要なサービス、またはトータルサービスの提供。
- 登録スタッフ管理やシフト管理の代行など、メニューの拡大を図り、採用効率のアップや経験者の囲い込みを実現。

※いずれのメニューについても、公布後の政令や施行令を確認しながら、2010年10月のサービス開始を目指します。

FULLCAST HLDGS.



BNY MELLON
DEPOSITARY RECEIPTS

米国預託証券プログラム：

プログラムの種類：Level-1 スポンサー付き

原株との交換比率：100 ADR = 原株1株

米国証券コード(CUSIP)：35968P100

Symbol：FULCY

預託銀行：預託銀行：バンクオブニューヨークメロン

101 Barclay Street, New York, NY 10286, U.S.A.

TEL：(212) 815-2077

U.S. Toll Free：(888) 269-2377 (888-BNY-ADRS) Web Site：

http://www.adrbny.com/dr_profile.jsp?cusip=35968P100

【お問い合わせ先】

IR室：03 - 4530 - 4830

URL：<http://www.fullcast-ir.jp>

e-mail：IR@fullcast.co.jp

Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。

また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。

Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。